

心理測定法 (旧カリ用)

《担当者名》 永見慎輔 nagami@hoku-iryo-u.ac.jp 橋本竜作

【概要】

ひとの感覚や主観的判断など心理的な内容を測るために、多くの測定法が開発されている。この科目は感覚・知覚に関する心理物理学的測定法、心理学的な概念を測定するための尺度構成法を学ぶ。また新たな尺度を作成する上で、基礎となるテスト理論を学び、データ収集をする種々の調査法とデータ解析法も学ぶ。

【学修目標】

一般目標：

言語聴覚障害および言語聴覚臨床について学修する上で基礎となる心理学的測定法に関する知識を修得する。

行動目標：

- (1) 心理測定の基本的な概念と方法を説明できる。
- (2) 心理物理学的測定法について説明できる。
- (3) 尺度水準と尺度構成法について説明できる。
- (4) 尺度の作成過程とテスト理論を説明できる。
- (5) 様々な調査法について説明できる。
- (6) 得たデータの整理と解析方法を説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	心理物理学的測定法	様々な閾値や感覚の測定法を学ぶ。 (調整法、極限法、恒常法、適応法、ME法、MP法) 測定における誤差について学ぶ。	橋本竜作
2	尺度構成法	尺度水準について学ぶ。 (名義・順序・間隔・比率) 様々な尺度とその具体例を学ぶ。 (評定法、順位法、一対比較法、SD法など)	橋本竜作
3-4	テスト理論	古典的テスト理論について学ぶ。 信頼性と妥当性、項目分析について学ぶ。 測定と誤差、標準得点について学ぶ。	橋本竜作
5-6	調査法	様々なデータ収集方法について学ぶ。 (観察法、面接法、質問紙法、実験法)	橋本竜作
7-8	データ解析法	サンプリング、記述統計と推測統計について学ぶ。 検査の感度と特異度について学ぶ。 研究デザインについて学ぶ。	橋本竜作
9	標準化	標準化(標準化集団)について学ぶ。 カットオフ値の考え方を学ぶ。 臨床判断における推論のポイントを学ぶ。	永見慎輔
10	検定とは何か	帰無仮説と対立仮説について学ぶ。 p値の定義について学ぶ。 有意水準・第Ⅰ種の誤り(偽陽性)/第Ⅱ種の誤り(偽陰性)について学ぶ。 検定力(power)とサンプルサイズについて学ぶ。	永見慎輔
11	平均との差を扱う検定とノンパラメトリックの使い分け	1標本t検定(基準値との比較)について学ぶ。 対応のないt検定(独立2群)について学ぶ。 対応のあるt検定(前後比較・同一対象)について学ぶ。	永見慎輔
12	カテゴリ・関連の検定	χ^2 /Fisher/相関について学ぶ。	永見慎輔

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部(研究科)、学環、学校の授業実施方針による

【評価方法】

小テスト・レポート課題 (30%) と、定期試験 (70%) を総合して評価を行う。

【教科書】

山田弘幸 著 「言語聴覚士のための心理学 第2版」 医歯薬出版 2020年

【参考書】

市川伸一 編著 「心理測定法への招待 測定からみた心理学入門」 サイエンス社 1991年

高野陽太郎 編著 「心理学研究法 心を見つめる科学のまなざし」 有斐閣 2004年

中沢 潤 他 著 「心理学マニュアル 観察法」 北大路書房 1997年

鎌原雅彦 他 著 「心理学マニュアル 質問紙法」 北大路書房 1998年

保坂 享 他 著 「心理学マニュアル 面接法」 北大路書房 2000年

山田剛史 他 著 「よくわかる心理統計」 ミネルヴァ書房 2004年

【備考】

講義資料の配布はGoogle Classroomを利用する。

講義の一部でGoogle Formを活用する。利用方法は講義内で説明する。

【学修の準備】

予習は講義前「授業内容及び学修課題」にある内容を調べて、予習に努める (80分) 。

復習は配付資料、授業で解説した内容をまとめ、自身のことばで説明できるようにする (80分) 。

【ディプロマ・ポリシー (学位授与方針) との関連】

(DP3) 言語聴覚士として必要な科学的知識や技術を備え、心身に障害を有する人、障害の発生が予測される人、さらにはそれらの人々が営む生活に対して、地域包括ケアの視点から適切に対処できる実践的能力を身につけている。

【実務経験】

永見慎輔 (言語聴覚士)

橋本竜作 (公認心理師)

【実務経験を活かした教育内容】

言語聴覚士として言語聴覚療法に関わる研究を介して心理測定の実務経験がある。

公認心理師としての実務経験を活かし、実践的な内容にも言及し、理解を深める。

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している